

2015アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名[金沢市立西小学校] 担当教諭名[高本 洋] (5年1組 32名)

交流相手国[台湾]

海外学校名[Wen Ya Elementary School] 担当教諭名[Min-Yi Tsai, Ruth Hou]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	食と国際理解プロジェクト	34

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	伝統工芸
絵に込めたメッセージ	共通部分には虹をくぐって未来に向かう北陸新幹線を走らせた。お互いの伝統工芸品を描くことで、それぞれの国が伝統を大切に受け継ぎながら、未来に向かって歩み出そうとする思いを絵に込めた。金沢(石川)らしさが表現できそうな8品目を選び描いた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・実行委員を立ち上げ、自分たちでフォーラムに載せる内容を考えたり、壁画作成のデザインや計画を提案したりしながら、主体的に進めることができた。 ・作成にかかわる話し合いや調べ活動を通して、石川(日本)の伝統工芸の素晴らしさを再認識する機会となった。	・教師主導になる部分が多かった。もっと子ども達に任せられる部分があったのに、もったいなかった。 ・最終確認から作成開始までにフォーラムやメールの返事がなく、しばらく間ができてしまった。日程に余裕を持って取り組むべきだった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
・これまでも交流のあった文雅小学校と継続的に交流をすることでより強いつながりを感じることができた。 ・これまでは外国は遠い存在だったが、テレビ電話のやりとりやアートマイルに関わる活動を通して、より身近に感じられるようになってきた。	・英語を使った交流には一歩踏み出せずにいたが、何とかして伝えなければいけない状況になると、自分がもっている能力を総動員して何とか伝えられるものだなど実感した。一歩踏み出せば、構えていたほどでもなかった。何とかできる、と思った。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科等
自己紹介	9月	・自己紹介カードを作り、フォーラムに載せる。	自分を知ってもらうために、一生懸命英語を調べ、書いていた。	総合6
テーマ学習	10月	・相手国をもっと知りたい、自分達のことをもっと知ってほしい、の2つの活動進め、調べたことは学級内で交流、まとめたことを発信した。	日本との共通点や違いを意識しながら調べたり発表を聞いたりしていた。	総合12
構図決定	11月	・フォーラムでテーマの大枠を決定し、何を描くかについて話し合った。 ・スカイプで構図の確認や共通部分に何を描くか等を相談した。	どの伝統工芸を書くかの話し合いで、改めて魅力を再確認できた。 スカイプは少々緊張気味だったが、自分たちの提案に対してどんな返事が来るのか期待しながら参加していた。	総合8
壁画制作	12月	・8つのグループに分かれ、それぞれのグループが1つの工芸品を担当し、下絵から色塗りまで、責任を持って仕上げた。実行委員が段取りをし、作成を進めた。	一人一人が「自分はこれを書き上げた」という満足感をもっていた。 実行委員は責任を持って伝達等をし、現場の指揮を執っていた。	総合6
鑑賞・振り返り	3月	・作品を見ての感想発表。 ・玄関を入ってすぐの壁面に掲示。 ・終業式で報告(予定)	描かれた絵についても疑問がたくさん出てきた。玄関前で全校児童に見てもらえることを喜んでいた。	総合2

■学習目標(つきたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つきたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	4	他国の文化を知ること、改めて金沢(石川)の伝統工芸の魅力を実感することができた。
異文化の理解	A	4	日本と共通の工芸品を見つけたり、台湾らしいもの、工芸品の持つ意味などについて学ぶことができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	3	伝えるために一生懸命英語を調べて文を作っている姿が多く見られたが、スカイプでは消極的になってしまっていた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	A	4	金沢(日本)のことを伝えるためにまとめたり、調べた台湾のことをまとめて学級内で伝えたりすることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	A	4	クリスマスカードや年賀状のやりとりを相手を決めて実施できた。
協働する力 (役割分担・協力)	A	5	10月の調べ活動も壁画作成時も同じテーマのグループ内で相談・協力して進めることができた。
学習を追究する意欲	A	4	相手国(台湾)のことをもっと知りたいという意欲をもって調べ続けることができた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	A	5	数ある伝統工芸の中で8点選び、その魅力を絵柄や色使いでいかに表現するかを工夫していた。
作品を鑑賞する力	B	4	お互いに思いを出し合いながら1つの絵が完成したことを喜んでいた。相手の工芸品を何なのかを考えながら鑑賞できた。